

科 目 名		学年	
日本語表現 : Communication in Japanese		1PDK	
教 員 名	中井 賢一 : NAKAI Kenichi		
単 位	授業時間	科目区分	
2	100分×15回	必修	
		授業形態	
		講義・前期	
授業概要	<p>これまでの国語の授業を通して養った読解力・表現力を、生きて働く実践的なスキルとして定着させる。</p> <p>議論、討論を通じてトランザクションの能力を高め、自身の論理を多角的観点から構築し、様々な表現形態を用いて伝えられるようにする。</p>		
到達目標		評価方法	
多角的な視点から思考し、論理的に文章化できる。		課題、レポートによる。	
適切な表現を以て、討論、口頭発表ができる。		討議、プレゼンによる。	
課題に即した、小論文、企画書が作成できる。		定期試験による。	
		配分	
		70%	
		30%	
学習・教育目標		G①	
		JABEE基準1(1)	
		(f)	
授 業 計 画	回	項 目	内 容
	第1	ガイダンス	授業の概要と、その取り組み方について理解する。トランザクションの概念について理解する。
	第2	論作文①	二種のワークシートを用い、多角的な観点から課題を捉える方法を理解する。
	第3	論作文②	課題「ライフポート」に取り組む。適切な討論の方法を理解する。
	第4	論作文③	課題「水」に取り組む。抽象テーマに対する思考方法について理解する。
	第5	論作文④	課題「異文化理解」に取り組む。適切な要約の方法を理解する。
	第6	論作文⑤	課題「生命と教育」に取り組む。課題文を要約した上で、問題点について討論を行う。
	第7	論作文⑥	論作文のまとめとして、課題「豊かな未来(前半)」に取り組む。適切なスピーチの方法を理解する。
	第8	論作文⑦	論作文のまとめとして、課題「豊かな未来(後半)」に取り組む。小論文の作成に習熟する。
	第9	企画書作成①	課題「新商品の開発(1)」に取り組む。課題に基づいて、企画書を作成する方法を理解する。
	第10	プレゼンテーション①	自作の企画の特徴と魅力について、プレゼンテーションを行う。質疑応答の方法について理解する。
	第11	プレゼンテーション②	”
	第12	企画書作成②	課題「新商品の開発(2)」に取り組む。課題に基づいて、企画書を作成する方法に習熟する。
	第13	プレゼンテーション③	”
	第14	プレゼンテーション④	”
第15	まとめ	全体の学習事項のまとめを行う。授業評価アンケートを行う。	
自学自習の内容	レポートを課す。		
関連科目	国語IV		
教科書			
参考書			
授業評価・理解度	最終回到授業評価アンケートを行う。		
副担当教員			
備考			